令和 5 年 11 月 24 日

令和 5 年度 Ⅲ類卒業研究 B・輪講 B の審査について

1. 提出物について

2 月 1 日（木）16 時（所属研究室のプログラムが別に定める場合がある）までに以下のものを下記に指定された提出先に提出すること．提出物に記載する論文題目に相違がないように十分注意すること．

(1)**卒業論文**（媒体：紙に印刷したもの 1 部，提出先：指導教員）様式は別紙参照．

(2)**卒業研究審査願**（提出先：**google form**）ファイルの提出は不要です．下記の google form に必要な情報（学籍番号、氏名、指導教員名、卒業論文題目）を記入して“送信”してください．

https://forms.gle/okvLeUuMuTEBJgH66

“送信”後、自動でメールが送信されますので、**必ず自動送信メールの受信を確認してください**.

(3)**卒業研究発表会用要旨**（媒体：PDF ファイル，提出先：所属研究室のプログラムが指定）テンプレートファイルあり．（P1 研究室所属の学生は様式 A-1, P2~P5 研究室所属の学生は様式 A-2）

(4)**輪講学習リスト**（媒体：PDF ファイル，提出先；所属研究室のプログラムが指定）テンプレートファイルあり（様式 B）．輪講や卒業研究の中で，読んで勉強した論文・書籍（過去の卒論や修論も可）の一覧を A4 紙 1 ページにまとめる．審査において，輪講 B の単位認定根拠となる．

2. 卒業論文のチェック

提出された卒業論文については，指導教員が押印した後に，プログラム内にてチェックを行う．チェック後，卒業論文はチェックシートとともに指導教員を経由して卒研生（執筆者）に返却する．

3. 卒業研究発表会

2 月 14 日（水）までに所属研究室のプログラム毎に 1 日で実施．自分の発表会場の発表を全て聴講することが望ましい．卒業研究発表会を対面，遠隔のいずれかで実施するかは各プログラムの判断に委ねる．

4. 評価

卒業論文や卒研発表会の内容が不十分の場合には，卒研再発表などを求められる場合がある．

5. 卒業研究 B・輪講 B の担当教員

機械システムプログラム	遊佐先生：y.yusa@uec.ac.jp
電子工学プログラム	酒井先生：takeshi.sakai@uec.ac.jp,
	宮下先生：n.miyashita@uec.ac.jp
光工学プログラム	加藤先生：takashi.kato@uec.ac.jp
物理工学プログラム	森永先生：morinaga@ils.uec.ac.jp
化学生命工学プログラム	中根先生：dice-k@uec.ac.jp，安井先生：myasui@uec.ac.jp,
	平野先生：thirano@uec.ac.jp

卒業論文の作成と卒業研究発表会の注意事項（別紙）

［卒業論文］

卒業論文は，卒業研究発表会で回覧し内容と形式を下記に沿って審査する．提出日以降の変更，卒業研究発表会でのコメントを考慮した修正などを行い，指導教員が確認を行う．その後各研究室で保管し後輩が随時参照する．

1. 用紙

縦 A4 版用紙で横書きとする．用紙の余白は左側を 3cm 以上、その他を 1cm 以上とり，右肩にページを記入する．

2. ファイル

ファイルの表紙および背表紙は図 1 のようにする．左綴じ．

3. 内容

論文執筆に際し，以下を参考にすること．

・論文構成：表紙，目次，緒言，本文，結論，謝辞，参考文献，
・付録は章としない
・図・表にはそれぞれ章通し番号と見出しをつける．

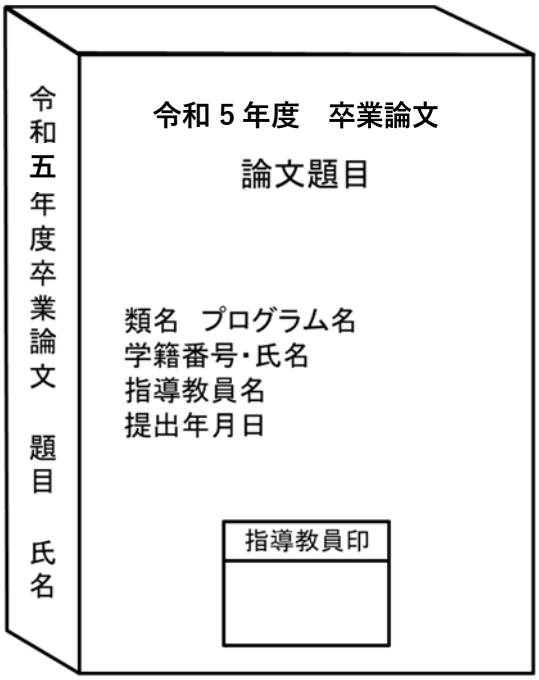

図1　ファイルの体裁

［卒業研究発表会用要旨］

要旨を各自作成し，各プログラムの定める指示に従って提出すること．（別紙フォーマットあり．P1 研究室所属の学生は様式 A-1, P2~P5 研究室所属の学生は様式 A-2）

［卒業研究発表会］

卒業研究発表会では，次の事項を考慮して卒業研究の単位認定が審査される．提出卒業論文の審査も併せて行う．

1. 要旨や卒業論文はわかりやすく記されているか
2. 発表の資料は見やすくできているか
3. 内容を理解しているか
4. 自分で行った部分はどこか
5. 発表時間の制限内にまとめたか
6. 発表態度
7. 質疑への応答